

合理化の判断基準について

1. 必要性・有効性の評価基準

評価項目			評価の視点		評点及び評価基準
必要性	地域課題・ニーズ	現存性	開始した背景や要因、「その事業がなければ（誰かが）困る」といった状況	現時点でどの程度存在するか。	1. 当初の地域課題・ニーズが希薄化 2. ある程度の現存性は認められる 3. 開始当初とほぼ同水準
		重要性		緊急性・重要性がどの程度高いか。行政関与が妥当か。	1. 地域課題・ニーズが明確でない、または重要性・緊急性ともに認められない、あるいは行政関与が妥当でない 2. 一定の重要性は認められるが緊急性が低い、または行政関与の妥当性に課題がある 3. 緊急性・重要性ともに高い、かつ行政関与が妥当
	目的の重要性		当該事業を実施することにより、どのような状態を目指すのか。その目指す状態が持続可能な行政経営に向けてどの程度重要か。行政関与が妥当か。		1. 目指す状態が明確でない、または重要性が低い 2. 目指す状態の重要性は一定認められるが、目標の明確性に課題がある 3. 目指す状態が重要であり、かつ目標が明確
有効性	目的達成効果		目標達成効果が具体的に説明可能（数値測定可能または定性的目標として定義可能）かつ高い水準で認められるか。		1. 説明困難、または効果が低い 2. 一定の効果が認められる 3. 高い効果が認められる
	施策の整合性		地域課題・ニーズから目的達成効果までの一連の流れに論理的整合性があるか。（効果が他の事業や外部要因による強い影響を受けるものでないか等）		1. 整合性が低い 2. 整合性が一定程度説明可能 3. 整合性が高い

2. 合理化の判断【検討案】

(1) 必要性の判定基準

- ① 各項目で1つでも評点1となった場合：領域Ⅲ
- ② ①以外で合計点が4点～7点：領域Ⅱ
- ③ 合計点が8～9点：領域Ⅰ

(1) 有効性の判定基準

- ① 各項目で1つでも評点1となった場合：領域Ⅲ
- ② ①以外で合計点が3～5点：領域Ⅱ
- ③ 合計点が6点：領域Ⅰ

<合理化判断マトリクス表>

有効性	領域Ⅰ	⑥ 行政目的を再整理し、中長期的な再構築を検討	③ 効率化を検討	① 現行のまま継続または拡充を検討
	領域Ⅱ	⑧ 類似目的施策との統合または民営化を含めた中長期的な廃止を検討	④ より 効率的・効果的な手法を検討	② より 効率的・効果的な手法を研究
	領域Ⅲ	⑨ 原則として廃止を検討	⑦ 類似目的施策との統合を含めた効率的・効果的な手法または中長期的な廃止を検討	⑤ 類似目的施策との統合を含めた効率的・効果的な手法を検討
		領域Ⅲ	領域Ⅱ	領域Ⅰ
		必要性		